

9月議会

うれしの市議会だより

Ureshino City Council

2019 Vol.55

令和元年11月12日発行 発行 嬉野市議会 / 編集 議会広報編集特別委員会 〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



平成30年度決算…徹底審議！

議会からチェック…各課へ改善を指摘

公の施設使用料…新たに改訂

話題の市民

アジア ジュニアソフトテニス優勝

平成30年度会計決算を認定…………… P2~3

決算慎重審査…決算指摘事項…………… P4~5

令和元年第3回定例会…………… P6~9

条例改正・陳情、意見書…………… P10~11

14名が登壇・一般質問…………… P12~21

動く委員会…………… P22~23

ときの人…………… P24

力をこめて一致団結！（大草野小学校）

会計決算を認定



▲「ふるさと応援寄付金」等 想いが込もった体育館

市町村たばこ税・ふるさと応援寄付金が減

一般会計実質単年度収支は
1億5,788万円の黒字

令和元年第3回定例会は、9月6日に招集され10月7日までの32日間の日程で開催されました。

今定例会の提出議案は報告6件、条例の一部改正9件、令和元年度一般会計補正予算2件、令和元年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算1件平成30年度決算認定10件議員発議3件、合わせて32件の議案が提案されました。

9月24日決算認定10件と一般会計補正予算1件並びに議員発議3件を除く11件を可決しました。

9月26日に決算特別委員会を設置し、平成30年度一般会計、特別会計、水道事業会計など10件の決算認定について慎重審議をおこない、10月7日決算認定と発議など全会一致で可決しました。

平成30年度一般会計決算の状況は、歳入総額168億1,596万2千円、前年度対比(3・9%)、6億5,859万6千円の減、自主財源比率は38・9%、16・4ポイント減の12億7,923万5千円が減少し、依存財源比率は61・1%に増加しています。

理由としては、市町村たばこ税や、ふるさと応援寄付金などの減収が要因です。

歳出総額163億3,419万2千円、前年度対比(3・9%)、6億5,859万6千円減となっています。減額の要因はふるさと応援寄付金支援業務や同寄付金積立金の減、国民健康保険特別会計繰入金赤字補てん分の減、うれしの茶交流館建設費の減などがあげられます。

実質単年度収支は1億5,788万1千円の黒字となっています。また

実質収支比率については3〜5%が適正とされていますが、平成30年度は4・8%となっており、適性の範囲であるといえます。

市税の徴収率については、現年度課税分と滞納繰越分を合わせた全体では、86・86%となっており、前年度より0・34ポイント低下しています。滞納繰越となつてからの徴収は難しく、現年度課税分の徴収率を向上させることが重要です。

平成30年度国民健康保険特別会計については、平成29年度に累積赤字補

てんをしたので、昨年と同じく黒字となつていますが、市民税と同じく滞納繰越にならないような徴収努力が必要です。

水道事業会計については、嬉野地区の水道事業統合による廃止施設や塩田地区の旧施設の解体などで営業損失が計上されています。佐賀西部広域水道事業団との統合となるので、老朽管の更新が進むことに期待したいと思います。

農業集落排水事業については、今議会で公共下水道と市営浄化槽との料金統一の条例が可決しました。料金統一の令和3年までの期間に市民の皆様への周知と理解、さらには支援体制についても指摘しました。

自主財源、依存財源とは

自主財源とは、自治体が自らの権限で収入しうる財源で、中心となるのは地方税(市税)である。その他、条例や規則で徴収できる使用料や手数料、繰入金などです。近年は、ふるさと応援寄付金も貴重な財源となっており、その比率が高いほど健全な財政状況と言えます。

依存財源とは、他に依存する歳入ことで、主に地方交付税などの国庫支出金や県支出金などの補助金ですが、事業をおこなうときの市債(借金)も依存財源です。

平成30年度

一般 特別 水道事業

各決算の状況

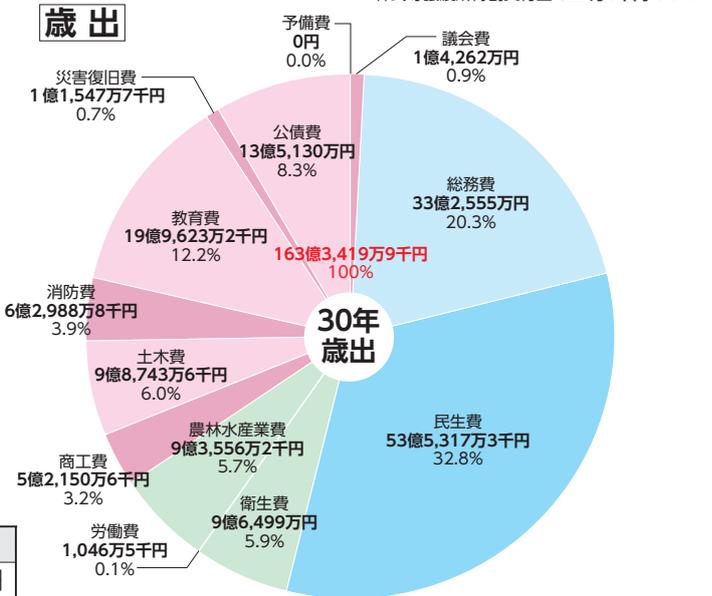
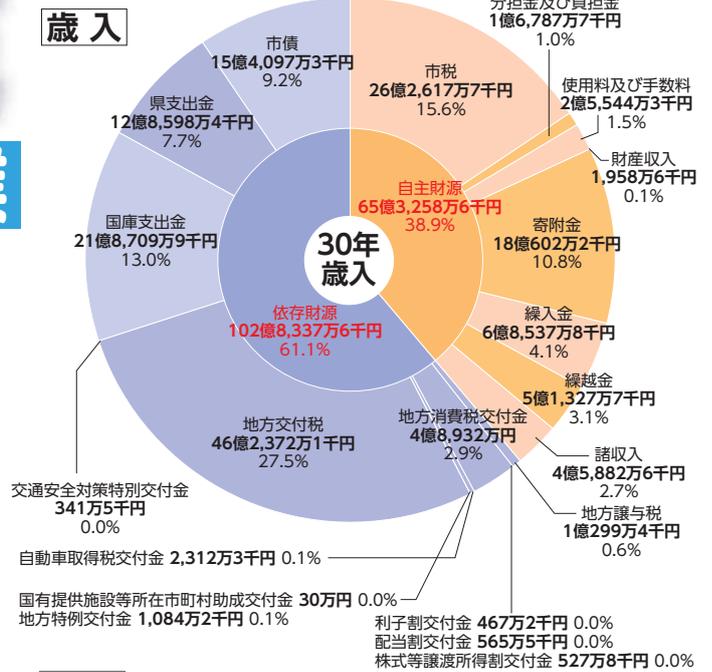
会計名	総収入	総支出	差引額	
一般会計	168億1,596万円	163億3,420万円	4億8,176万円	
特別会計	国民健康保険	36億6,542万円	35億2,549万円	1億3,993万円
	後期高齢者	3億5,700万円	3億5,397万円	303万
	農業集落排水	3億8,684万円	3億8,147万円	537万円
	公共下水道	3億7,940万円	3億7,552万円	388万円
	浄化槽	1億2,671万円	1億2,064万円	607万円
	第七土地区画	1億6,598万円	1億3,578万円	3,020万円
	第八土地区画	8,475万円	8,369万円	106万円
	嬉野駅周辺	1億9,627万円	1億8,762万円	865万円
水道事業会計	水道料金他	経費支出	差引額	
	収益的収支	6億2,030万円	6億2,343万円	△313万円
	資本的収支	6,745万円	3億6,031万円	2億9,286万円

借入金はこれだけ

借入金の項目	平成30年度末
総務	540万円
農林水産	4,819万8千円
農林水産	4,302万円
公有林	517万8千円
商工	0円
土木	5億4,992万3千円
土木	4億3,616万5千円
公園	4,887万1千円
住宅	6,488万7千円
消防	1億4,661万8千円
教育	14億2,711万8千円
災害	2,545万円
災害関連	219万6千円
災害復旧	2,325万4千円
その他	98億6,291万3千円
臨財債	50億621万7千円
合特債	42億5,074万7千円
その他	5億4,999万6千円
合計	120億6,562万円

※令和元年9月補正

一般会計の状況



貯金はこれだけ

基金の項目	平成30年度末金額
財政調整基金	29億5,691万2千円
減債基金	12億5,196万9千円
地域づくり推進事業基金	4億1,965万9千円
ふるさと応援寄附金基金	14万4千円
地域福祉基金	2億1,405万1千円
ふるさと・水と土保全基金	2,041万3千円
公共施設建設基金	2億3,860万6千円
学校建設基金	0円
奨学基金積立金	6,604万9千円
人づくり振興基金	5,000万円
下水道事業基金	1億3,816万4千円
合併振興基金	13億8,904万円
土地開発基金	1億127万2千円
その他	371万5千円
合計	69億340万7千円

各課へ改善を指摘

Check

平成30年度決算特別委員会は、9月26日に議長を除く15名の議員で設置し、委員会内に3つの分科会を設け、各担当より決算書及び決算資料に基づき詳細な説明を受け、事情聴取をおこないながら審査しました。

その結果、それぞれの担当課へ指摘事項を付して、すべての決算において認定しました。

指摘事項の 主なもの

総務・防災課

① 職員研修事業は、職員の能力と個々の資質向上を図る大きな事業だが

予算執行率がここ数年で一番低い。予定する内容の研修を十分行うべきである。

② 災害に関する情報周知のため、ハザードマップが作成・配布されたが今後は活用方法も十分検討すべきである。

財政課

① 血屋保育所跡地地面崩壊防止工事がおこなわれたが、現在、利用予定はない。今後、活用方法の検討もしくは、売却も含め努力すべきである。

企画政策課

① ふるさと応援寄附金事業については、返礼品見直しなどの影響で、寄付金額は大幅な減額となったが、経費削減や内容の充実等が図られた。引き続き財源確保に努力すべきである。

新幹線・まちづくり課

② 嬉野市定住促進奨励金事業の申請、執行については、年々順調に伸びているが、実質人口は減少している。今後、事業内容の見直しも検証すべきである。

① 本通り線一方通行化に向けた社会実験では、検証結果が出て、期待面また課題も洗い出された。今後は地元協議会とも連携して地域活性化に繋がるように努力すべきである。

② 第七及び第八土地区画整理事業費特別会計は保留地処分や起債の償還も進んできている。今後高架工事や駅舎の工事進捗に合わせ、駅への近さの魅力を最大限PRして完成に向け努力すべきである。

広報・広聴課

① 企業誘致ビル整備事業は、今後、オフィスビルが整備されるが、空室がないように、企業誘致はしっかりと努力すべきである。

② 情報発信事業の中で

市報がアパート等に住む一部市民に届いていない実態がある。配布方法について検証すべきである。

税務課

① 税の収納は、現状でも相当努力されているがマンパワーが足りていない。徴収人員増について真剣に考え、また、徴収不可能と判明次第、早めの不納欠損処理を検討すべきである。

教育委員会

① 奨学金貸与事業は、506万3,525円が

未納である。居住者不明等で不納欠損の扱いになる可能性があるため、貸与者への連絡と連帯保証人への働きかけも強化すべきである。

福祉課

① 地区民生委員活動に關しては、今後もなり手不足が懸念される。民生委員は地域包括ケアの要であり、活動内容も含め現場に即した対応をすべきである。

② 在宅介護交流事業について、1カ所に委託されているが、他の社会福祉法人も類似した取り組みをおこなっているため事業内容の充実のためには事業の見直しをすべきである。

文化・スポーツ振興課

① 高齢者教室は、きっかけづくりや場所の提供

議会からチェック

また環境整備は行政が関与しても、補助金支出が妥当なのかを含め検討すべきである。

② **スポーツ大会・誘致活動事業**の補助金の変更をされているが、議会に對し、説明がされなかった。このような補助金の変更をおこなう場合は今後、議会に對し説明をすべきである。

健康づくり課

① **がん検診**は、早期発見・早期治療につながる大事な事業である。検診率向上のため、様々な取り組みもされているが、今後も受診率向上の更なる努力を求める。

② **国民健康保険**に関しては、現在、県より示された予定収納率以上に収納されている。今後の収納についても県の基金を借りる事のないよう努力

すべきである。

子育て未来課

① **施設型給付費の保育料**について、これまでの滞納繰越額が212万7,660円（令和元年5月末）であり、今後しっかりと徴収すべきである。

② **放課後児童健全育成事業**の委託料が、障がい児受入数の変更、雇用形態の変更等の報告が委託先からされなかったことが要因となり、多額の不用額が生じた。今後、このようなことがないように指導すべきである。

農業政策課

① **中山間チャレンジ事業**では、2地域で数回の座談会や講演会が開催された。参加者の意識を更に高めるため、地元住民の先進地視察研修等、より一層の事業の充実を図

る取り組みが必要である。

② **うれしの茶交流館チャオシル**については、入館者数の目標達成はできた。今後は収入にも結びつくよう、施設の体験メニューに繋がる仕掛けづくりに努力すべきである。

農業委員会

① **平成30年度より、農地利用最適化推進委員**が配置され、これまで以上に貸し借りについては身近に把握できるものと考ええる。今後は、残すべき農地の整理と分散している農地集約化が必要であり、更なる連携による事業推進に期待する。

観光商工課

① **観光産業活性化事業**では、地域開発プロジェクト事業内の、9つのチーム内での取り組みに

温度差があると思われるので、改めて精査し検証する必要がある。

② **観光消費額向上**のためには、観光客の市内観光周遊が必要であり、市内周遊を促進するためのピンポイントでのPRや広告等の充実強化を図るべきである。

環境下水道課

① **農業集落排水処理施設の統合**可能性調査業務については、ランニングコストを十分に考慮しながら、地域農業に関する部分もあるため、地域住民との意思疎通を図りながら研究検討をすべきである。

建設・農林整備課

① **住生活基本計画及び公営住宅長寿命化計画**の策定において、老朽化による建て替えが必要とさ

れる公営住宅があり、計画遂行に関して、社会的弱者等の背景や、将来に

おける人口減少等の推移を考慮し、民間企業との連携も視野に入れ、総合的かつ計画的に進めていくべきである。

水道課

① **水道事業**については料金の徴収努力は評価できるものの、不納欠損額は増加しており、更なる徴収努力を求める。

② **佐賀西部広域水道事業**との統合に向け、統合後は使用しない施設の解体をおこなっており、また、老朽管布設替等の費用が大幅に増額することが予想され、より一層の経営努力を求める。

令和元年第3回定例会

補正
予算

1億805万円を補正

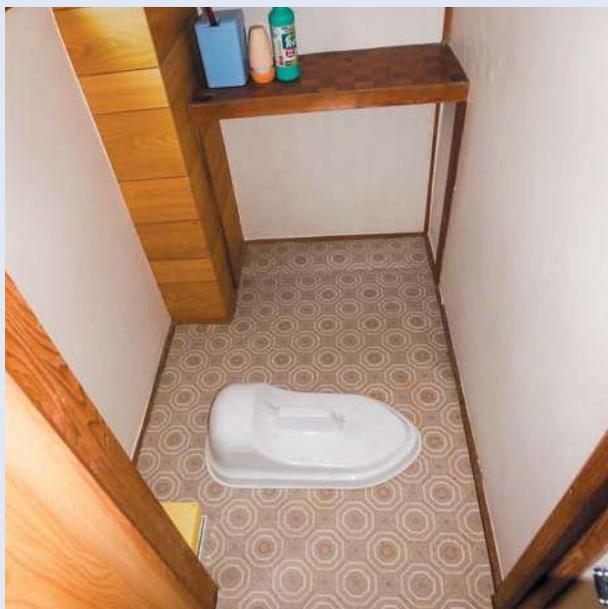
一般会計総額149億8,141万円に！

今回の補正予算は1億805万円を追加し、総額149億8,141万円となり、前年対比(90・2%) 1億6,104万円減となりました。

内訳は記載の空き家バンク登録物件のリフォーム事業、国際観光・産業戦略事業として、武雄市で予定されている「アジアベストレストラン50」の開催に併せて嬉野市のPR事業や、「有田・武雄・嬉野地区連携会議」の関連負担金、10月1日から「幼児教育・保育が無償化」に伴う関連予算また、全国茶品評会であられしの茶が、釜炒り茶部門で農林水産大臣賞を受賞したことで、そのPR事業などが予算化されました。

リフォームで快適な定住を

★空き家バンクリフォーム等助成



上手な活用を

活用に繋がることを期待します。

空き家を買いたい人・借りたい人、また、空き家売りたい人・貸したい人は市役所へお問い合わせください。

嬉野市のホームページにも空き家バンク制度に関する情報を紹介しています。

問 補助対象者はだれか。
答 空き家バンクの登録物件に定住又は定住予定の方である。

問 定住後でも申請できるのか。
答 定住後1年以内まで申請可能である。

問 相談窓口はどこか。
答 嬉野市役所の企画政策課である。

今回空き家バンクリフォーム等助成事業に200万円が予算化されました。登録物件に転入者が利用する場合に、リフォーム費用等の補助をおこなうことで、空き家の流通と転入の促進を図り、地域の活性化と空き家問題により損なわれた

周辺環境の向上に繋げることを目的とします。事業内容はリフォーム等費用の補助に1/2以内(上限50万円)を交付し、空き家の活用を図ります。この空き家バンクリフォーム費用等助成事業で、さらに空き家の有効

保育環境の充実に向けて

★小規模保育所新設



子育てしやすい“まち”へ

については、小規模かつ0〜2歳児までの事業であることから、保育内容の支援及び卒園後の受け皿の役割を担う連携施設の設定が求められています。

具体的な内容として、新設の所在地は、嬉野町温泉四区において定員19名、木造2階建ての延べ床面積242.62㎡です。連携施設として既存の保育園が担うこととなります。

議会としては、小規模保育所の新設が少しでも待機児童の解消と保護者の負担軽減につながることを願います。

問 開園はいつか。

答 令和2年4月1日である。

今回、令和2年度小規模保育園新設の施設整備に8,078万4,000円が予算化されました。今事業の補助率は、子育て安心プランによる待機児童解消対策に対する国からの補助が1/2か

今回の小規模保育事業

農地を守れ

★新規自営就農者支援事業



農業活性化に繋がれ！

今回、新規自営就農者支援事業として700万円が予算化されました。

この事業は、嬉野市内で新規に独立・自営就農をおこなう農業者に対し、嬉野市単独事業として費用の一部を補助するものです。

農産物の生産に必要な機械の導入や設備整備等に要する費用の一部を助成することにより、初期投資の負担軽減が図られ

ることで、早期の所得安定に繋がることが目的です。

補助対象となります。

補助内容として、国や県が実施する補助事業の対象とならない機械導入や施設整備に要する費用の1/2以内（上限50万円）となります。ただし

問 補助対象者の基準は、次のすべてに該当する者（一事業に対し一回限り）

① 嬉野市に住所を有する18歳以上50歳未満の者

② 青年等就農計画の認定を受けた者、または公的機関が認める研修を修了した者

③ 令和元年度（平成31年4月以降）に導入された機械等及び着工施設から

嬉野市に対する債務の未納がない者等である。

「アジアベストレストラン50」

★国際観光・産業戦略事業

アジアベストレストラン関連として、国際観光・産業戦略事業費に250万円が予算化されました。

「アジアベストレストラン50」とは、食のアカデミー賞と呼ばれ、食による地方創生プログラムとして注目されています。世界トップレベルのシェフが参加し、そのスタッフや世界のマスコミを合わせると約800人が参加するイベントです。アジアの主要都市で毎年おこなわれており、アジアレストランのトップ50店が発表・表彰される祭



チャンスをつかめ

典です。

これまで、アジアを代表する国際観光都市で7回開催されており、8回目が来年3月に、武雄市で発表・表彰式がおこなわれ、日本で初めての開催となります。

嬉野市としては、近隣でもあり、宿泊地としてまたとない機会と捉え、参加されるトップシェフとのコラボや新メニュー

等の開発をおこない、このイベントを活用しながら、世界への情報発信をする予定です。

問 主催者はどこか。

答 イギリスにある世界料理学会（IWC）である。

問 新メニューの開発だけなのか。

答 シェフやスタッフとの協議次第である。

若い力に期待！

★有田・武雄・嬉野地区連携会議

温泉や陶器で結びつきの強い武雄市や有田町との連携による相互の誘客拡大を図り、地域一体の浮揚を目指す目的で、今回100万円が予算化されました。

これに先駆けて、7月3日に有田町・武雄市・嬉野市より地域づくりの方向性や課題を検討、共有し、地域の活性化を図るための連携会議が設置されました。

内容としては、それぞれの市町の魅力ある資源を活用し、「ありったけのうれしいを！」をキャッチフレーズとし、PR活動をおこないます。9月28日、29日には、福岡・天神のイベントスペースにて「ありったけのうれしいテーブルズ」として嬉野からは、お茶や吉田焼を始め、嬉野の特産品が来店されました。また、各市町若手職員

のプロジェクトチームの結成により、今年度は「観光」をテーマに若者の新しい発想のもと、事業展開をおこないます。

今後はテーマを変えながら連携をしていく予定となっております。議会としては、新しい



若い感性で連携を

発想での3市町連携を強化し、地域活性化に繋がるよう、若手職員のプロジェクトチームに期待します。

問 若手職員の人数は几人か。

答 各市町6人ずつの18人で構成する。

本に親しもう！

★佐賀うちどくフェスティバル

平成29年度に「嬉野市文化の香り高い読書のまち活動推進条例」が制定され、推進月間である10月に読書に関する市民の関心及び理解を深め、市民が積極的に読書活動に取り組み意識を高めるため、うちどくフェスティ

バルの開催に10万円が予算化されました。

「うちどく」とは、家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話すことで、家庭の中において読書の習慣を共有することを目的として、その啓発と推進を図るた

めに第1回佐賀うちどくフェスティバルが伊万里市から始まり、今年度第7回目が嬉野市リバティにて10月12日に開催されました。

内容は、嬉野小学校の「リレーうちどく」、塩田町おはなし会・嬉野町おはなしどんどんによる「うちどく」についての

本できずなを



実践発表のあと、児童文学作家の「くすのき しげのり氏」の講演がありました。また、こどもたちを対象に地元絵本作家である「ちえちひろ」さんによるワークショップもあり、親子で楽しめるフェスティバルとなりました。

今後、嬉野市でも「うちどく」の習慣が定着することを議会としても望みます。

問 第8回の開催はどうか。

答 小城市で開催の予定である。

釜炒り茶で日本一

★農林水産大臣賞受賞 PR 事業



茶業の起爆剤に

今回、追加補正予算として農林水産大臣賞受賞のPR事業に160万円が予算化されました。

賞二位を受賞しました。この受賞を契機に嬉野茶業をはじめ、各産業のさらなる活性化に繋がることを期待します。

今回の受賞は釜炒り茶の発祥の地とされる嬉野市にとって「うれしの茶」の歴史と伝承を誇れる名誉なことであります。

問 PRはどのようにするののか。

また、今回の品評会で蒸し製玉緑茶部門では個人部門で一等二席である農林水産省生産局長賞を受賞したほか、上位10点

答 大臣賞受賞を前面に打ち出し、ポスター、のぼり旗等のPR費ほか市長のトップセールス等に活用し、販売促進に繋げる。

また、団体でも本市が賞されました。

中6点が本市の出品で占め、昨年に引き続き産地

廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例を改正

家庭用の指定袋（ごみ袋・リサイクル袋）が改訂へ

問 いつから変わるのか。
 答 令和2年4月1日から変わる。
 問 どのように変わるのか。
 答 家庭用指定袋（1枚）

(燃やせるごみ用)	大	50円	2t未満の車1台	2,000円
(燃やせるごみ用)	小	30円	2t以上の車1台	3,000円
(燃やせないごみ用)	大	50円	事業用一般廃棄物	
(燃やせないごみ用)	小	30円	指定袋 大	110円
(リサイクル用)	大	20円	指定袋 中	80円
(リサイクル用)	小	10円	指定袋 小	60円
粗大ごみステッカー		500円	指定袋（リサイクル用）	20円
持込粗大ごみ			となる。	

※ 詳しくは市報にてお知らせします。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例

問 どのような事業か。
 答 家庭的な雰囲気の中で、少人数を対象にきめ細かな保育を実施する保育事業である。
 問 対象は。
 答 0歳から3歳未満の児童が対象。
 問 保育料は。
 答 年齢や世帯所得によって違うので、担当課にお尋ねください。
 ※ 子育て未来課
 ☎ 0954-6619121

農業集落排水処理施設条例を改正

農業集落排水使用料が改訂へ

問 どのように変わるのか。
 答 今までは人数制で計算されていたが、今後は重量制で計算されます。

種別	基本使用料		超過使用料（1㎡につき）	
	汚水量	使用料	汚水量	使用料
一般汚水	10㎡まで	1,200円	10㎡を超える部分	150円

その他の条例改正

- 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
- 嬉野市印鑑条例の一部
- 嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部
- 嬉野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部
- 嬉野市企業等誘致条例の一部
- 嬉野市都市公園条例の一部

陳情

米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情
 宜野湾市民の安全な生活を守る会
 会長 平安座唯雄

地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書
 全日本自治団体労働組合
 佐賀県本部 執行委員長 石橋正純

塩田川井堰の維持管理・修繕工事等に係る地元負担の軽減についての要望
 式浪自治会会長 香田正人
 外6名

上岩屋 市道小杭線の道路改良（拡幅）工事についての要望
 上岩区長 田中 操
 外2名

請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2020年度政府予算に係わる意見書の採択に関する請願書
 請願者
 嬉野市嬉野町大字下野内1710
 代表 筒井宏

国・県へ意見書を提出

地方財政の充実 強化を求める 意見書

意見書

1. 地方一般財源総額の確保を図ること。
2. 社会保障予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は廃止・縮小の検討を行うこと。
4. 「まち・ひと・しごと創生事業費」の予算について、財源確保を図ること。
5. 会計年度再任用職員への処遇改善のための財源確保を図ること。
6. 地域間の財源偏在の解決策の協議を進めること。
7. 地方交付税の財源保障機能を強化すること。
8. 基金残高を地方財政計画や地方交付税に反映させないこと。



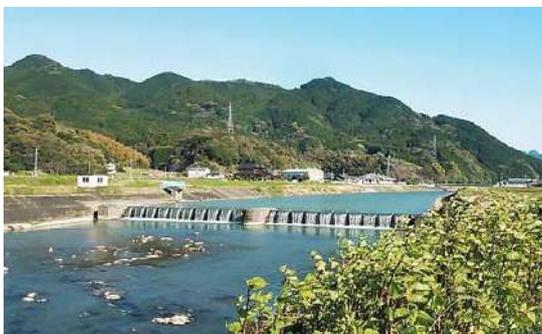
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2020年度政府予算に係わる意見書

学校現場では、解決すべき問題が山積しており子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を確保することが困難な状況になっている。

1. 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

頭首工(可動堰)の保全に対する支援増に関する意見書

嬉野市の中小河川では河川災害が多く発生し、河川改修により、治水のための井堰が築かれた。現在の鋼製可動井堰は、農業用水だけでなく、環境、消防用水等、多目的に活用されている。しかし、建設後10年から20年余りが経過し、経年劣化で全体の取り換え等、複数の保守整備を順次控えており、受益者負担が大きいのしかかっている。受益者負担の軽減を図るため、これまで以上に県からの財政支援を強く要望する。



私はこう判断

賛否表

○は賛成 ●は反対
議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原陸也
議案第62号	嬉野市農業集落排水処理施設条例の一部改正	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	令和元年度嬉野市一般会計補正予算(第3号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	平成30年度嬉野市一般会計決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	平成30年度嬉野市国民健康保険特別会計決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	平成30年度嬉野市後期高齢者医療特別会計決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	平成30年度嬉野市農業集落排水特別会計決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	平成30年度嬉野市都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	平成30年度嬉野市浄化槽特別会計決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	平成30年度嬉野市都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	平成30年度嬉野市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	令和元年度嬉野市一般会計補正予算(第4号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ここが聞きたい

宮崎 良平 議員 (P21)	梶原 睦也 議員 (P20)	諸上 栄大 議員 (P20)	辻 浩一 議員 (P19)	宮崎 一徳 議員 (P18)	山口 卓也 議員 (P18)	山下 芳郎 議員 (P17)	増田 朝子 議員 (P16)	山口虎太郎 議員 (P16)	川内 聖二 議員 (P15)	諸井 義人 議員 (P14)	芦塚 典子 議員 (P14)	森田 明彦 議員 (P13)	山口 政人 議員 (P12)
----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------



塩田の中央公民館の改修はいつになるのか

山口政人 議員

答 個別施設計画を策定する



安全な公共施設へ

山口 嬉野市中央公民館（旧塩田町民会館）・五町田研修センターは築40年以上経過し、耐震化もされていないが、今後の改修予定はいつになるのか。

市長 今後の公共施設の維持管理については、個別施設計画を策定し、老朽化状況の実態把握を

山口 県河川の草払い特に土砂の浚渫を県に強く要望すべきではないか。

市長 いろんな機会を捉えて地元の要望として伝えていきたい。

山口 県河川の草払い特に土砂の浚渫を県に強く要望すべきではないか。

行政経営部長 本年、7月1日に職員の懲戒処分を基準を制定し、明確にしている。

地域農業の振興策は

山口 地域を守っている小規模農家への支援対策はないか。

市長 小規模農家への支援策は現在ないが、重要性は認識している。手厚い支援というのは市の財政的な力をみても難しいのではないかと考えている。

山口 嬉野市の農村社会が、今後どうなっていくのか。

市長 国・県の大きな流れは、大規模農家、集落営農法人になっていくので市としてもその方向性になるうかと思う。

山口 嬉野市中央公民館（旧塩田町民会館）・五町田研修センターは築40年以上経過し、耐震化もされていないが、今後の改修予定はいつになるのか。

山口 県河川の草払い特に土砂の浚渫を県に強く要望すべきではないか。

市長 いろんな機会を捉えて地元の要望として伝えていきたい。

山口 県河川の草払い特に土砂の浚渫を県に強く要望すべきではないか。

行政経営部長 本年、7月1日に職員の懲戒処分を基準を制定し、明確にしている。

山口 全国的に重大な車の交通違反が増えてきているが、職員の法令違反に対する処分基準を明確にすべきではないか。

山口 国連で家族農業の10年が採択されたが、どう考えるか。

市長 家族農業は世界的にも9割がその形態であると認識している。家族で農業をしていく上で女性の活躍というのが一つの今後のキーワードになってくると考えている。

山口 今後は大小農家が生き残れる政策にかじが切られるというような考えはないか。

市長 国の大きな流れは、大規模農家、集落営農法人になっていくので市としてもその方向性になるうかと思う。

一般質問

いっぴん質問

森田 6月の日本商工会議所調査では、軽減税率導入で4割の事業者が未着手と答えている。市内事業所の対応状況を把握しているか。また、市民に混乱を招かないような対策が必要ではないか。



消費税税率引き上げへの対応は

森田 明彦 議員

答 商工団体を通じ指導がなされている

市長 私どもも国内誘致は当然力を入れていく

森田 観光の基本路線として、国内旅行者向け対応の更なる充実が大事だと考えるがどうか。

市長 団体客でキャンセルなども現実として出ている。今後は安定して発展するために一国依存は見直す必要もある。色々な国々の方に嬉野の魅力を発信し、このピンチをチャンスに変えていく。

森田 現在の日韓関係悪化を受け、佐賀空港路線の運行停止や旅程変更などが相次いでいる。当市での観光への影響はどうか。また、今後のインバウンド観光政策で変化があるのかうかがう。

市長 市内の状況として8%と10%の処理が混在する事業者の全体数はつかめていないが、増税対応については、商店街協同組合や商工会を通じて事業者に指導をしているとうかがっている。

誘客対策はどうする

市長 介護予防と介護の支援を組み合わせた「ごましお健康クラブ」や吉田地区の高齢者外出支援をおこなう「ヨツシー号」また、運転免許証自主返納事業でタクシー利用券発行などをお



軽減税率の効果は？

べき方向と考えている。高齢者の外出行動支援をせよ

森田 高齢者の社会参加と外出行動支援について当市で実施している施策をうかがう。

市長 介護予防と介護の支援を組み合わせた「ごましお健康クラブ」や吉田地区の高齢者外出支援をおこなう「ヨツシー号」また、運転免許証自主返納事業でタクシー利用券発行などをお

森田 公園など身近な場所、休憩できるベンチがあることで高齢者の外出に対する積極性が変わるといわれる。

来年度、企業版ふるさと納税が企業にとつて非常に有利な条件になる。今後の取組みとして、この企業版ふるさと納税でのベンチ設置事業について検証できないか。

総合戦略推進部長 地方創生事業として、高齢者の外出行動支援を含め、研究していく。



教育政策の方向性は

芦塚 典子 議員

答 人生100年時代の教育を

芦塚 市の教育政策の方向性はどうか。

教育長 人生100年

時代をゆたかなものにするために教職員の育成、学校を支援する教育委員会の確立、学校づくりの充実を図り教育ナンバーワンの推進を目指している。

芦塚 超スマート社会

での学校教育の方針はどのように考えているのか。

市長 地域とともに学ぶコミュニティスクールを展開している。新たなICTも教育に取り入れていく考えである。

芦塚 「ソサエティ5.0」の超スマート時代の学校教育は、市においては、

が今後の教育の課題であると思うが市長の見解はどうかうかがう。

市長 子どもの無限の可能性を広げてあげられるよう積極的に教育投資をおこないたい。

伝建は保存か観光か

市長 特段回答はおこなっていない。

芦塚 行政に対する効果がないということか。

市長 庁舎内では、フィードバックしている。

芦塚 各課長は総務大臣メールを知っているか。

建設・農林整備課長 聞いていない。

芦塚 メールには、農業の高齢化・労働不足問題の解決、有害鳥獣捕獲支援また防災においては災害情報ハブの構築、行政事務の効率化などあらゆる事例提供と、人材を送り特別交付税をつけるという国の重要な提案であり回答できなかったのか。



ICTを生かす、新教育制度が始まる

芦塚 総務大臣から1月以降、計4回のメールが市長あてに届いているが回答をしたのかうかがう。

総務省大臣メールには回答をしたのか

市長 回答はしていないが、先進自治体の視察をおこなない、交付税措置のある事業の活用も考えている。

7月の市職員の不祥事をどう捉えているのか

諸井 義人 議員

答 飲酒運転は決して許されない



諸井 発覚から約1か月後に発表したのはなぜか。

市長 聞き取り調査をおこなっていた。「推定無罪の原則」があるので処分が決まるまで発表を控えた。信頼回復を第一に組織を挙げてやっ

行政経営部長 部課長会議を通じて、機会あるごとに飲酒運転防止の注意喚起をおこなっている。二度と起こさぬように職員が自主的に取り組むよう指示した。

教育長 教職員の場合子どもに対する影響力が非常に大であることから「信頼される教職員であるために」の冊子を配布し指導している。

給与の見直しを

諸井 大卒の初任給が近隣の市より1万800円安い。近隣並みに引き上げて、職員のモチベーションを高め、優秀な人材を採用できるような方策を取るべきではないか。

行政経営部長 一応内部で検討をしている。色々な課題等クリアできれば実施したい。

市長 職員の初任給を引き上げるよう努力はしたい。嬉野市の魅力や、やりがいを感じる工夫も必要である。

諸井 嬉野市が目指す



早期に有害鳥獣の捕獲 処分対策を

川内 聖一 議員

答 至急検討していきたい

川内 有害鳥獣の捕獲処分に対し、苦勞されているがどうするのか。

農業政策課長 自動的

市長 毎年約1,200頭のイノシシが捕獲されているが、埋却処分以外に至急検討をしていきたいと考えている。

川内 以前から実験中の箱罾、ICTを活用したアニマルセンサーの稼働はどうか。

川内 成果はどうか。

川内 ある地区では、

川内 ある地区では、



徳島県の微生物処理施設

働はどうなっているのか。イノシシ防衛の柵内にイノシシが生息し、被害を受けている。

農業政策課長 活用でき

川内 有田町が、捕獲したイノシシを民間事業者へ委託処分をされているが、当市でも検討できないか。

市長 選択肢の一つと考えるが、自前の処理施設で、機動的に対応する方法を考えた

川内 選

川内 選

市長 委員は10人以内

川内 委員は10人以内

市長 委員は10人以内

川内 委員は10人以内

市長 委員は10人以内

川内 委員は10人以内

市長 委員は10人以内

川内 委員は10人以内

観光政策や農業政策、交通政策等を考えた場合、中央省庁からの派遣で中央との連携や指導を仰いだらどうか。

市長 何かのミッションを明確化することが必要。いろんな分野で専門的、高度な人材を入れて組織に新しい風を起こすことは大事だと思っ

ている。嬉野市の課題を解決できる人物が見つければ積極的に取り込んでいきたい。

川内 先日、近隣の市町で、豪雨により防災の拠点となる庁舎も被害を受けている。早急に検討すべきではないか。

企画政策課長 今後、開催する委員会では、来年の8月ぐらいには結論を出してもらいたいと考える。その後、基本構想から早くても5年から6年かかるかと考える。

川内 市民が納得する素晴らしい庁舎を構想してもらいたい

副市長 災害の拠点もあるが、庁舎としての様々な方向性を検討する必要がある。総合的にそれを判断し、市長が最終的には決定をする。

市長 委員は10人以内

小学校の英語教育は

諸井

来年度から全面実施される英語教育については、どのような準備や体制がとられているのか。

教育長 小学校の中学年で35時間、高学年で70時間の英語の指導をする。今年度中に年間計画を作成し、先生の指導力向上のための研修会に参加してもらっている。県から2名の英語活動推進教員派遣により、各小学校を巡回しながら指導の充実を図っている。

市長 委員は10人以内

川内 委員は10人以内



ダメ！ 飲酒運転

医療センターとの 協定書は

山口虎太郎 議員

答 平成25年5月に協定された



山口 医療センター跡地活用は、これまでの議会でも取り上げられてきたが、平成25年5月の協定協議にある等価交換の根拠をうかがう。

市長 協定書には直接等価交換の文言は入っていないが、当時の報道も

等価交換と明記しており医療センター側が発行されている定期報の中にも等価交換ということに記載され、協議されている。**山口** 契約書を交わされる時期が5年も10年もすれば跡地が廃墟となかなかねないが、そこで今後の計画をうかがう。

市長 時期については協議を重ねている。説明できるタイミングになれば議会、市民の皆様にも説明する。

総合戦略推進部長 現在嬉野市と病院側と何回も協議をしている最中なので時期がくれば説明をしていく。

山口 跡地の計画は国や県に相談しているのか。**総合戦略推進部長** 佐賀県には相談しているが、国に対して相談はおこなっていない。まずは嬉野市がしっかり計画をつくるのが先決だと考えている。

山口 病院側は営業を始めています。土地の名義交換はまだ協議段階なのかうかがう。まだであれば、早急に解決して



増田 轟の滝公園を観光の視点でどう考えるか。**市長** 観光としても、ものがたり的にも非常に価値が高い。

増田 大型バス対応の駐車場の確保はできないか。

産業振興部長 以前も質問があり検討したが、現実には進まず現在はチャオシルを駐車場として案内している。

増田 公園内は、紫陽花が植栽されているが、本数を増やし、桜だけではなく、四季折々の花で魅力ある場所にしてもらいたいかがか。

市長 花いっぱいのもちづくりの方向性として賛成である。

増田 維持管理のための専任の方を置いてほしいかがか。

市長 管理体制を充実させるため、人員の確保の支援をしていきたい。

増田 委託料の増額も考えられるか。

管 理体制の充実を

答 支援していきたい

増田朝子 議員

市長 増額も視野に入れる。

広聴としての展開の充実を

増田 今後の取り組みはどうするのか。

市長 各種団体や現場に行つて多様な市民の声を拾い上げていく。

増田 医療センター跡地、庁舎のあり方検討などについて、市民とワークショップをしてはどうか。

市長 市政を方向づける上で重要な施策については、ワークショップも検討していきたい。

増田 ワークショップをコミュニティ単位でできないか。

市長 テーマの性質に応じて検討していきたい。

増田 グループ（5人ぐらいから）で場所と時間をすり合わせの上、希望があれば市長との対話集会はできないか。



いつもキレイな公園管理を

市長 研究をしていきたい。

サウンディング調査後はどうするのか

増田 みゆき公園のサウンディング調査がおこなわれたが、今後はどうするのか。

新幹線・まちづくり課長 9月末に公表し、市として取り組める内容であれば、事業化に向けて取り組んでいく。



交換を急げ！

市のビジョンを市民に示していくべきと考えるがいかがか。

市長 早期に皆様にも見える形にするのが望ましい。関係機関と連携し引き続き努力をしたい。

農業振興はどうするのか

山口 茶業計画の進捗状況はどうなっているのか。

市長 後継者が育つ環

境づくり、ブランド力向上で稼げる農業、茶業を

目指し、全国茶品評会で釜炒り製玉緑茶大臣賞受賞、産地賞受賞を産地一丸の取組の機会として努力していきたい。

その他の質問

■市職員の健康管理について

■職員倫理規程について



山下 本市は2名の地域おこし協力隊の雇用をしたが、目的である定住に繋がらなかった。今後の採用計画はあるか。

市長 ミッションに応じた人材を招きたい。

山下 住民と触れ合う事が鍵であり、雇用に自由度を持たせる考えはないか。

市長 一般非常勤職員の規定があり、同様の扱いが原則である。

山下 受け入れる住民主体の団体組織と協議する考えはあるか。

市長 基本的には自治体主導で行うものである。

山下 今後、各地域コミュニティへ受け入れの用意があれば案内しては

いかがか。

市長 研究し、活用へ周知を図りたい。

協

力隊は地域で受け入れを

答 活用を図りたい

山下 芳郎 議員

行政サービスの向上を

山下 職員の提案制度はどうなったか。

総務・防災課長 規定を設定し、平成28年度から政策提案発表会を毎年開催している。

山下 実施している。我々は知らないし、市民にも見えないがなぜか。

総務・防災課長 規定であり、内部事務に関するものでネット・ホームページには上がらない。

山下 実施の内容はどうなっているのか。

総務・防災課長 手上げ方式であり、研修等で見聞を深めたものを提案する例が多い。

山下 職員の人数も限りがあり、提案する事で

自信に繋がるよう表彰制度を導入できないか。

市長 表彰は職員の自信になる。長期的展望に

立ったテーマ等の性質の発表に対しては表彰制度を考えた。

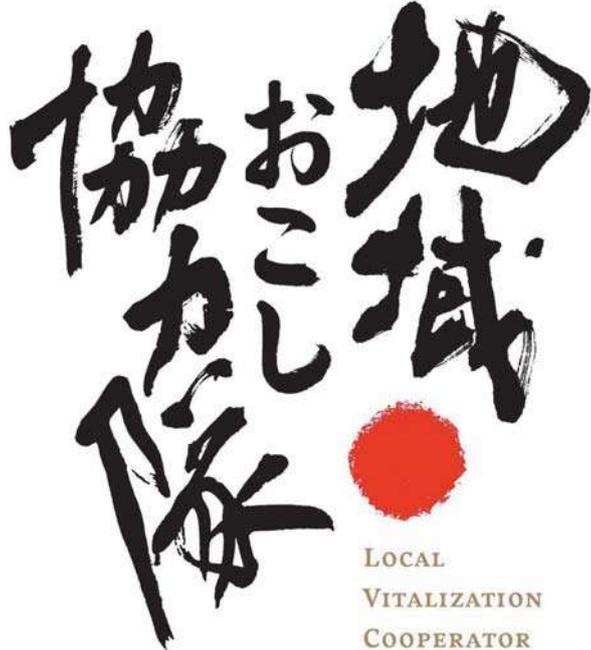
山下 職員研修費予算は、63%しか使われていない。職員研修の考え方を聞く。

市長 職階に応じ研修が必要であり、希望する職員は、派遣している。

山下 高齢化等で市役

所に来る事ができない方が多くなるが、必要書類等を軽自動車・バイク等で直接お届けする機動部隊のサービスはできないか。

市長 「楽々ふれあいお届けサービス」をおこなっているが、まだ利用者が少ないので広報で周知を図りたい。



地域に根づく



河川ライブ映像等の充実を

山口卓也 議員

答 機能強化が必要と考える

か。

市長 塩田橋に設置する河川ライブカメラは、塩田地区のケーブルテレビで見ることができ、2年連続で大雨特別警報が出ている現状を鑑みると、災害情報提供の機能強化が必要と考えており河川ライブ映像についても市内上流域についても把握できる環境の整備やインターネット配信についても研究をしていきたいと考える。

方で被災者の避難生活を支援する人材の確保という課題もあり、また旅館の通常営業との兼ね合いもある。嬉野市として取り組むことができないか研究はしていきたいと考える。

その他の質問

■観光施策（嬉野版DMO）に関する施策推進等）について

■高齢者の移動手段の確保（電動シニアカーの購入・レンタル補助等）について

山口 豪雨による被害を想定した防災対策を講じていく必要があると考える。河川に隣接する山林が土砂崩れした場合、河川に木や土砂が流れ込み橋梁などで塞がれてしまうと、上流の平野部でも氾濫の危険が生じると考えるが、危険度の把握はできているか。

建設部長 土砂災害防止法による土砂災害警戒区域、特別警戒区域が指定されており、危険な区域の把握はできているのではないかと考える。河川と山林が近い箇所は危険度調査については研究していきたい。

山口 避難するためには、災害情報の把握が重要になる。河川ライブ映像や交差点の状況をケーブルテレビやインターネットで情報提供する環境を充実すべきではない

市長 宿泊機能が既に確保されているというメリットが挙げられる。一方で被災者の避難生活を支援する人材の確保という課題もある。旅館の通常営業との兼ね合いもある。嬉野市として取り組むことができないか研究はしていきたいと考える。

山口 高齢者の方などは体育館等での長期の避難生活は困難と考えるが快適に避難生活を送れるように、災害発生時の福祉避難所の確保について宿泊事業者と避難所提供に係る協定の締結に向けて協議を進めてはどうか。



早めの避難に繋げよ

企業誘致候補地の見直しは

宮崎 一徳 議員

答 調査をする必要がある



宮崎 企業誘致工業団地の造成についてどう考えるのか。

市長 工業団地は、久間の工業団地が候補地となっており、最優先と考えている。農地の造成は農地転用の手続きが必要であり、その土地に確実に

に進出する企業があるのかを佐賀県との協議で指摘を受けている。これを踏まえて、久間工業団地に進出する企業の誘致に向けて、引き続き誘致活動に取り組む。

宮崎 企業誘致候補地は、いつ決めたのか。

総合戦略推進部長 合併後、すぐに調査し、久間の工業団地と東吉田の2つの地区が候補地となった。

宮崎 地権者へ説明はどうなっているのか。

総合戦略推進部長 平成22年に地元説明会等を開催し、平成27年に関係区長と協議し、動きがあったときに説明会を開催することです承を得ている。

宮崎 企業誘致候補地の見直しは考えられないか。

総合戦略推進部長 合併当初以来、調査していないので、候補地見直し等の必要性もあると思う。立地の優位性もあるのでどこが適地なのか調査する必要はある。

宮崎 企業誘致が進まない原因は何か。



韓国からの誘客と今後は

辻浩一 議員

答 今後とも真の友好を目指す

辻 韓国に対しての誘客対策はどうするのか。

市長 個人客、個人で企画をされている方に、アプローチをしていきたい。

辻 反日運動がある中、雰囲気的に代理店としては、日本への旅行は企画しにくいのではないかと。

市長 日本への旅行を

呼びかける事が、非難の対象になりかねないし、企業イメージに繋がりがねないので、呼びかけを控えている状況が続いている。

辻 香港便の長崎空港直通バスが、予定されているが、タイミングが悪かった。今後の見通しはどうか。

辻 韓国とは異なり、同じ日本統治を受けながら、台湾は親日的であり、日本に対する思いは強い。台湾は大事にしていかなければならないと思うがいかがか。

市長 私も台湾との関係を重視している。総領事が来訪し、今後関係を深めていくとの事であり、副市長を派遣し、観光協会が提携を結んだ北投温泉との関係強化に努めた。

辻 中国からの誘客の見通しはどうなっている。
市長 合理的に考える方が多いので、引き続き取り組んでいきたい。
辻 地理も歴史も最終的な部分の最後になるので、そう多くはない。ただ、時代的な背景がこういう時なので、学習指導要領にのっとってその範囲で指導していくようにしている。

辻 歴史教育の中で近現代史の時間はどれくらいか。

教育長 地理も歴史も

辻 今起こっている問題は近現代のことについての課題が大きい。世界的に通用する歴史観を、自信を持って発言できる教育が大事ではないか。

教育長 中学校は義務教育である。その上に高等教育が入るので、日本史、世界史A、Bの中で深い学習をすることが、学習指導要領で位置づけられている。

市長 経済状況を見ても、製造業の新たな設備投資は非常に厳しい状況である。小さな雇用でもしっかり積み上げ、地域の雇用を確保していく方針である。

宮崎 企業をどのような手法で誘致するのか。

市長 県の企業立地課、首都圏事務所、関西・中京事務所等の紹介を受け、企業進出を模索している。企業誘致でPRすべきと

ころは長崎、佐世保両方にアクセスの良い立地があり、西九州の交通の結節点に当たるところを強調している。

その他の質問

■ 観光地、観光施設の見直しについて

■ 高齢者の運転免許証自主返納への支援事業について

■ 太陽光発電買取制度と発電用地について



公正な歴史認識を



企業進出しやすい環境を

水路を観光に活用できないか

諸上 栄大 議員

答 地元区民との土台づくりが必要



諸上

水路の管理はどのようになっているのか。

市長

法定外公共物の水路は、平成10年代に国から権限移譲をされ、管理について、法的には市にあり、日常の維持管理は地元区民の関係者であ

る。

諸上

嬉野地区の市街地を流れる水路はどこからどのように流れているのか。

建設・農林整備課長

轟の滝公園プール入り口横から流入し、西公園の方を通り、下宿区の方に流れるのが1本。湯野田川の下流から流入し、市街地へ流れているのが1本。温泉橋の上流側の固定堰から流入しているのが1本あり、市街地としては概ね3路線ある。

諸上

水路は市街地も流れている状況だが、管理面で各地域から相談や苦情などは出ていないか。

建設・農林整備課長

特に苦情や相談などはない。環境下水道課長

特に市街地水路の水環境に関して、ゴミの詰まりのよう

な相談は実際にあつて

いる。

諸上

水路に常時、一定量の水が万遍なく流れている状況が維持できれば、ゴミの堆積やよどみが軽減されると思うし、



梶原

高齢者、障がい者等のための避難行動要支援者名簿記載対象者数はいくらか。

市民福祉部長

1200名程度である。

梶原

課題はなにか。

市民福祉部長

記載不同意の方への対応だ。梶原

特に災害時は、

「要配慮者のための防災行動マニュアル」は

「要配慮者のための防災行動マニュアル」は

梶原 睦也 議員

答 早急に検討が必要だ

命を守るためにもプライ

命を守るためにもプライバシーを超えた対応も必要だ。不同意の方へも同意を得られたものとして支援をすべきだ。

市民福祉部長

アップ

アプ



細やかな配慮を

福祉課長

毎年やっている。その時に同意を促していききたい。

梶原

今回

さであった。

災害証明書発行の手続き、災害ゴミの取り扱い、ボランティア要請の方、ボランティア要請の仕方等どうしていいか分からずに戸惑っておられた。事前の行政支援体制の構築が必要ではないか。

市長

いざ被災した時に市民はどうしたらいいかとの視点が抜け落ちて

いる。市民や行政レベル

ですっかり考えていき

たい。

梶原

実態に即した要配慮者

(高齢者・障がい者・乳幼児等)のた

めの防災行動マニ

ュアルを作

成すべきと考えるが

いか

か。

市長

特に重篤な方の避難をどうするの

か等、早急な検討が必要

だ。

梶原

人口呼吸等医療

ケアが必要な方は

電気が必要だ。電

源確保はでき

総務・防災課長

発電機を4台備蓄している。

市民福祉部長

複数の手段での電源確保が必要だ。国・県と連携し対応する。

梶原

色覚障がい者のための防災マップ等の作成をすべきではないか。

市長

まずは、今ある防災マップが色覚障がい者の方に問題なく見えるか検証する。

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高



水の流れも観光資源

今後、観光コンテンツの一つにも活用できる要素になると考えるがいかか。

市長 水路が流れないというのであれば、特に夏場は悪臭の問題も出てくると思われる。逆に流れるようになり、水の流れが見えれば、散策しても楽しいようなものになるのではないかと思っている。

諸上 水路には農業用水路や生活用等、様々な用途があると考える。そこで、常に一定量が流れ

る水路環境を作り、それを観光に生かす取り組みをおこなうため、各関係者や関係課が集まり話し合うような仕掛けづくりが必要と考えるが、いかか。

市長 法的には市が管理で、日々の維持管理は地区という事になっている。やはり、地域の皆様と私ども、いろいろな力を合わせるというように土台づくりが必要である



宮崎 市の防災組織の核として総務・防災課があるが、現在の組織体制に問題はないか。

市長 総務・防災課が核になり、災害対策本部体制に則り、各班の連携を強固にしていくことで解決できると考えている。しかし特別警報が二年続けて発令されるなど、過去の災害と比較できないものがあり、防災拠点の検討、人員体制の増強も必要ではないかと考えている。

宮崎 実際、ここ数年

続く九州北西部での甚大な被害、また障がい者、高齢者に対する災害支援体制の充実等考えた時、人員の確保が必要で、当然そこには人件費という問題もある。しかしながら防災においては、他のどんな事案や、問題があるうとも、影響を受けな

防 災に特化した課・室の設置を

答 その必要性について認識している

宮崎 良平 議員

い組織体制が必要でありぜひ特化した課・室の設置を望むがいかかか。

市長 その必要性について認識している。そういう意味では防災専任として防災官を招致し、そのうえで更なる組織体制の強化を図りたいと考えている。

安全な水資源の保護を

宮崎 以前、安全な水道水の確保のためダムの水源までを保護する条例を制定すべきとの質問に

水資源保護区域の策定業務を実施しているとの答弁だったが、その後どうなっているのか。

環境下水道課長 岩屋川内ダムおよび横竹ダム

周辺の流域で、ダムに流れ込む可能性のある地域の特定を、地籍図を基におこない終了している。

宮崎 林野庁の調査では

2007年から2017年に外国資本における土地買収の森林面積が5,789㎡で、この中で水資源を狙ったものがあるのではないかと言われており、早めの条例制定をおこなうべきと思う

うがいかかか。

環境下水道課長

水源保護条例にはいくつか検討すべきポイントがあり嬉野市の置かれている状況と今後のことを鑑みて現状に合わせた条例制定に動いているということ



気候変動への対策を

動く!! 委員会

まちづくり委員会

総務企画常任委員会

調査理由

高齢者の免許証返納が進み、交通弱者、買物難民といわれる高齢者が増加傾向にあり、将来的に買物支援事業等の施策も必要になってくる。そこで、今回まちづくりの一環として大分県中津市山国町へ視察研修をおこなった。

委員会の意見

中津市山国町は、山間を流れる清流山国川に沿って開けた町で、かつては林業で栄えたが、高度成長期の終わり頃から人口流失と林業の衰退で賑わいも失われたとの話だった。

高齢化率も50%を超え、町内からスーパーがなくなり、地域での日常生活やコミュニティを維持していくには試行錯誤されて苦労があったと思われる。

今回の視察で買物難民対策として改造した2台の買物専用バスは、移動販売を週2回4つの



これからの、まちづくりには買物難民という視点を取入れた施策が必要と考える。

コースを20カ所の停留所で日常生活の魚や野菜等の身近な必需品を届けている。高齢化と人口減少で交通が不便になり、買い物に行く機会が少なくなった住民も買物を楽しみ、販売員とのコミュニケーションが生まれる効果も見られ、多いに参考になった。また、立案から運営までのキーマンとして、市役所職員が担当し住民の声を反映していた。

教育委員会

文教福祉常任委員会

調査理由

全国的な人口減少、少子化により児童数や生徒数も減少している。そのような中、大分県玖珠町では、これまで中学校7校が1中学校に統合された。統合に至るまでの経緯、廃校になった中学校の地域の状況、今後の少子化対策等について調査をおこなった。

委員会の意見

玖珠町では、平成6年5月より中学校統合に向けて学校教育審議会を設置し、協議した結果

今後の生徒数減少を見据えた場合、中学校統合は避けられない選択だった。統合により、町独自の予算で専任の英語教師（ALT）を招いたり、ホッケー部の創部など統合前に比べ部活動の充実も図られた。このように中学校統合の特色を生かした教育の充実により、町外から若い世代の移住者増に繋がればとの



思いだが、まだそこまでには至っていない。
町面積の4%に63%の住民が居住し、複数の大型店舗もあり町外からの買い物客も訪れているが、人口増、定住には繋がっていない状況である。
本市においては、これまで少子化対策において他の市町村に劣らない施策を講じてきたが、今後も、児童、生徒数の減少の流れは避けられない。更なる少子化対策、若い世代の定住策を講じていかなければならないと考える。

今後の嬉野市の観光振興 (DMO)について

産業建設常任委員会

調査理由

嬉野市は観光産業が基幹産業の一つである。現在3年後の新幹線開業を

目指し、観光客の増加等

観光産業振興の促進に繋

げなければならないと考

えるため、嬉野温泉観光

協会の役員と意見交換を

おこなった。

委員会の意見

昨年7月に観光庁より

候補法人として日本版D

MOの認定を受け、正式

な登録法人として認定を

受けるために課題等の説

明を受けた。

現在は補助金が前提で

のDMOの組織構築である。登録認定を受けるた

めには利益を生む着地型の方向でなければならぬ。そのためには、地域の各種団体を巻き込んでの自立した組織運営をおこなわなければならない。このことであるが、全ての委員がDMOに関する目的を認識されているようではなかった。早期に協会内での協議をおこな

い、この事業の趣旨を把握していただき、委員



お詫び

2019年7月26日発行の議会だより54号のP4において誤りがございましたので訂正します。

訂正箇所 p4

未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金 8行目～9行目
誤 本年11月分の児童手当の支給
正 本年11月分の児童扶養手当の支給
 となります。

重ねてお詫びと訂正をさせていただきます。

閉会中の委員会付託案件

令和元年第3回定例会

【付託事件名】	【付託委員会名】	【付託期間】
まちづくりについて	総務企画常任委員会	次期定例会まで
福祉について	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
観光について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会ICT化に関する調査研究	議会ICT化に関する特別委員会	調査終了まで
嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究	嬉野市庁舎検討特別委員会	調査終了まで

と

き

の

人

コラム

アジアジュニア ソフトテニス選手権大会 シングルス 優勝



塩田中一年
藤井智暉君

今年8月25日から31日までフィリピンで開催された「第1回アジアジュニアソフトテニス選手権大会」に日本代表選手として参加され、U-12のシングルス部門で見事優勝、ダブルスでも3位入賞という輝かしい成績を残された、藤井智暉君をご紹介します。

問…海外での大会に参加してどうだった？

藤井君…アジア各国の選手が参加する大きな大会で、ジュニア大会は初めて。優勝できて、とてもうれしいです。

問…テニスを始めたきっかけは？

藤井君…兄がテニスをしていたので、その影響からかなあ。小学校3年生から始めました。

問…普段の練習は、どれくらいしているの？

藤井君…小学校の頃は、塩田ジュニアというクラブチームに入っていて、毎日2〜3時間程、土日は4時間位です。中学校の部活では、週3〜4回2時間位です。

問…ソフトテニスの楽しい所や、きつい所は？

藤井君…しっかりと相手と打ち合って、ボールを決める

ところが楽しいです。逆に、相手の打ってきた早いボールに対し、ロブで返したり、コート縦横無尽に走らないといけないので、そこがきつい所だと思います。

問…監督はどんな人？

藤井君…塩田ジュニアの監督は、小野原監督で、怖かったけど（笑）熱心に指導してくれました。部活では岸川先生にも熱心に指導してもらっています。

問…ソフトテニス以外で、何が楽しい？

藤井君…友だちと遊んだり、兄と一緒に練習したりする時間が楽しいです。

問…家族や友だちに一言あれば。

藤井君…いつも弁当を作ってくれたり、試合を見に来てくれたり、テニス道具を買ってくれたりしてくれる両親には感謝しています。また、僕の事を心配してくれたり一緒に遊んでくれる友だちにも「ありがとう」と言いたいです。

問…最後に将来の夢は？

藤井君…ナショナルチームに入り、トッププレイヤーになりたいです。

議…とても礼儀正しく、はきはきとした受け答えをしてくれた彼に、爽やかさとスポーツマンらしさを非常に感じた。また、テニスの

話をする時や、将来の夢を語る時等の、彼の表情や瞳の輝きが印象として残る取材だった。まだまだ中学1年生、色々な大会が待っていると思うが、彼なら夢を叶えてくれそうな気がする。今後の活躍を大いに期待し応援していきたい。



世界中に感動を与えたらグビーワールドカップが幕を閉じた。日の丸を背負って戦った代表メンバーの顔ぶれは、国際色豊かだった▼キャプテンのリーチマイケル選手は、15歳の時に来日し、日本代表という自分の夢をかなえられた選手である。15歳という若さで、日本の文化にもなじめなかつた彼を、温かく迎え入れ、見守った学校や地域の人々に対し、彼はその恩と感謝の気持ちを忘れないという▼嬉野市内においても観光や就労、また結婚等で来訪、在住される外国人の方々が増えている。今後さらにも増加すると予測される自治体においても、多文化共生社会の構築が求められている▼外国の方も安心して生活できるよう、今こそ考えないといけない精神、それは『One for All・All for One』ではないだろうか。（采太）

議会広報編集特別委員会

委員長	宮崎良平
副委員長	苜塚典子
委員	山下芳郎
〃	辻浩一
〃	増田朝子
〃	山口虎太郎
〃	諸上栄大